



週報

■12月は、『疾病予防と治療月間』

第1503回例会 2017年12月7日 Vol.32/No.21

■本日の例会／第1504回 平成29年12月14日(木)

- 会長・幹事報告
- 各委員会報告・各委員長
- 誕生&結婚祝い報告・フェローシップ委員会
- 会員卓話・田島直也 会員

【出席率状況報告】

- ・会員数……………54名
- ・出席者……………31名
- ・欠席者……………23名
- ・出席率……………58.49%
- ・11/16の修正出席率・86.79%

■会長挨拶



田中 寿 会長

先週、漁師をやっている娘婿と久しぶりに話をする機会がありました、飲みながら話したのですが、最近の漁の話になって、こんなことを言っていました、魚の取れる時期がものによっては2か月くらいずれている、従来の魚の回遊する時期が変わってきているようだとおっしゃいました、もちろん海水の温度の関係だと言うわけですが、水産庁のHPなどで見てみると1985年辺りは1600万トンくらいの水揚げがあったものが最近では900万トン程度を保っていると言われております。環境保護政策の関係や資源保護と言う問題があるようですが、動物保護などと言う観点で見ると少しいびつなところが見られます。例えば宮崎の近海でも最近漁の最中にクジラの群れに出会う事も度々だと言います、彼らに言わせるとイワシやサバなどの小型魚の不漁はクジラが増えたことと大いに関係しているのではないかとおっしゃいます。歯クジラなどは一日に数トンの小魚を食べる訳で、それらが群れているという事はもの凄いの量の魚を食べてしまうという事でもあります。

おまけに網を破ったりすることもしばしばだと言います。また私の友人で海上保安庁の船に通訳として載っているのがいますが、第7管区では南西諸島から北陸辺りまでを所轄するらしいのですが、最近北朝鮮の船の残骸を度々目にするし、領海侵犯で臨検する事が非常に増えて居るとおっしゃいます、北朝鮮などの漁船は必ずと言っていいほど、小銃などの武器を持っているので、その友人なども防弾チョッキを着こんでいるようです。

違法な海域でも関係なしに料をするし、日本の漁船の網を挙げて持ち去る事もしばしばあるようです、日本のコーストガードは海上保安庁が受け持つわけですが、自衛隊に移管しなければ対応できないとい

う事も話題になっていると言っていました。

環境保護にしても、隣国との関係にしてもなかなか上手いくものではない様です。

寒くなりました、風邪やインフルエンザには気をつけて正月を迎えましょう。

■幹事報告



生駒俊明 幹事

☆演奏会後援名義と寄付について

2009年に当クラブにて米山記念奨学生 長沼真美さんがローマへ留学した後 帰国後 2014年と2016年に演奏会を開催され名義と寄付を行った。

来年2018の演奏会にも名義と寄付を行うことが理事会にて決定致しました。

・本日ボックスに新会員候補 林 貴信 様、村矢明広 様の推薦用紙を入れております。異議申し立てがある場合は7日以内に通告して下さい。

■委員会報告

フェローシップ委員会

江口健一 会員



フェローシップ委員会からのお願い。

12月21日の年度末家族懇親会で使用します。景品のご協力をお願いいたします。12月14日までに 例会場または、事務局にお持ちください。

ローターアクト委員会

渡邊 勝 委員長



来週、12月13日(水)12時30分より、宮崎市船塚のギャラリー陶花にて、今期、第1回目のローターアクトクラブの例会を開催します。新しいRACの出発となります。会員の皆様のご参加をお待ちいたしております。

■米山奨学金授与式



ハナ アカリ アリフィン 様

■年次総会



新田敬介 指名委員長
今年度指名委員長の新田です。
細則に基づき次年度の役員及び
理事を指名いたします。

山川 力会長エレクト挨拶

本日は次年度理事・役員承認を頂きありがとうございます。力不足とは思いますが皆様のお力添えをいただきながら頑張って行きますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2018～2019年度宮崎中央ロータリークラブ理事及び役員候補者

役員		理事	
会長	山川 力	クラブ奉仕委員長	長友春雄
会長エレクト	長友春雄	職業奉仕委員長	高橋誠司
副会長	長友春雄	社会奉仕委員長	江口健一
幹事	篠原英介	国際奉仕委員長	田中 寿
直前会長	田中 寿	青少年奉仕委員長	渡邊 勝
会計	片木重光		
S A A			

■ゲスト卓話



宮崎公立大学 学長
有馬晋作 様

宮崎県分離運動と西南戦争

1 西南戦争勃発前—廃藩置県と宮崎県—

・近世以降、日向は国の政治・経済の中心から遠く離れ交通不便な小藩分立。

⇒延岡・高鍋・佐土原・飫肥藩、そのほかは天領が点在。

・明治4年 廃藩置県(7月)：日向は旧藩領域と天領はそのまま存続して新県が置かれる。

美々津県・都城県の設置(11月)

大淀川を挟んで北と南に分断され美々津県と都城県を設置。

都城県は現在の鹿児島県大隅半島(志布志・松山・大崎)を含み大きい。

⇒旧藩を意識しない大胆な区画。目的：旧藩以来の小藩分立の封建割拠体制の解消

・明治6年 宮崎県の設置(8月)

全国的な県の廃合によって日向国全体を範囲とする新しい宮崎県が誕生。

大淀川があり水運・交易が便利な現在の県庁所在地(田園地帯)に決まる。

・明治9年 宮崎県廃止(突然の鹿児島県との合併)理由：旧藩士族が県庁を支配する「難治県」対策?(大島美津子『明治国家と地域社会』)

⇒以上の県の設置・分離・合併について宮崎の人からは不満は出なかった。

2 西南戦争勃発

・明治6年 征韓論争で西郷下野、桐野利秋・別府晋介ら多くの軍人辞官帰郷

・明治7年 鹿児島で将来のために私学校を設置。士族向けの兵学校。

・明治10年 西南戦争勃発(2月13日～9月24日)最後で最大の士族の反乱

西郷軍は約3万人従軍し6千人戦死者。政府軍は約6万人従軍し1万6千人戦病死。

筆者の曾祖父・有馬晋介(高江郷郷士：現在薩摩川内市高江町)も満17歳出兵

鹿児島は一種の軍事政権?

大山県令は、地租改正を円滑に導入するため区長・副区長に私学校派幹部を登用

⇒明治5：初の地方自治制度「大区小区制」(戸籍事務・徴税など)導入。

地方行政機関も県庁・警察も私学校派が牛耳る⇒軍事政権?

表1 西南戦争の西郷軍出兵状況(出典)佐々木克 1991年

私学校党(主力戦闘部隊)	13000人(うち城下士1,600人)
徴募兵	10000人
高鍋隊	1120人
延岡隊	1000人
飫肥隊	800人
佐土原隊	400人
熊本隊・協同隊・竜口隊	2500人
報国隊(竹田隊)	1000人
人吉隊	150人
中津隊	150人
	計 30,120人

発行/ 宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288

●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30～13:30)

会長/田中 寿 副会長/山川 力 幹事/生駒俊明

(注) 2月13日出発は私学校徒の13000人、そのほとんどは郷士(半農半士の武士)。

・日向での西南戦争一西郷軍敗走の地としての日向熊本で負けた西郷軍は人吉で一時期布陣。鹿児島が政府軍に占領され宮崎の方に。小林・宮崎・佐土原と西郷軍は移動していき、政府軍がそれを追って宮崎が戦場となる。

一番長く滞在(宿営):現在の宮崎市広島町の農業・黒木宅(5月31日~7月28日)

延岡で実質最後の戦いし可愛岳(かのだけ)から山へ登って九州山脈を南に下り鹿児島に。

⇒西郷は指揮をとったことなかったが唯一、延岡で指揮とる。

・日向は西郷軍の軍政下に。

宮崎支庁は軍務所と改められ(5月28日)、大区事務取扱所は郡代所、戸長役場は支郡所に。

⇒2か月にわたって軍政が布かれた。

兵の徴収:士族は帰郷した者を含め説得あるいは強制的に出兵。平民も募兵。

⇒延岡では豊後口出兵を含め1500人の農兵を集めた。

不換紙幣の西郷札が佐土原広瀬で製造され10万余円が管内で使用。

都農など県内9か所の臨時弾薬武器製造所を設置(神社の屋根の銅板や鐘を集め铸造)

⇒日向における士族の動員、農民兵の動員、資金調達などいずれをみても、鹿児島県宮崎支庁およびその官員、あるいはその下部統治組織である区長・戸長が関係しないものはなく、結局、西郷軍は鹿児島県に合併された日向の統治組織を最大限に利用した〔永井哲雄1977年9頁〕

3 鹿児島島の西南戦争後

郷土は地主化し町村長や議会議員になり鹿児島県の地方政治をリードした(城下士は没落)。

背景:明治22年(明治帝国憲法発布)の「市制・町村制」導入による制限選挙

4 宮崎県分離運動の開始⇒明治16年5月:宮崎県設置

西郷軍の敗走の地となり人的物的な被害大きかった。

⇒西南戦争によって宮崎県の一体感高まる。

政策での鹿児島優先への不満(西南戦争前と大きく違う点)、県議会での宮崎側の議員の数少ない。

分離運動で、もともと薩摩に近い都城が宮崎県に賛成(西南戦争で鹿児島城下士への不満)

県議の川越進ら有志の尽力大、在京日向人の協力
⇒この時期、他県は自由民権運動が盛んだったが宮崎は県分離運動一色。

土地広く人口少ない、産業振興にはこの地を一つにするリーダー必要の主張を政府受け入れ。

川越進、県議会議長として明治16年3月、山田内務卿に分県の建議書を申達。

【参考文献】

坂上康俊・長津宗重・福島金治・大賀郁夫・西川誠『宮崎県の歴史』山川出版社、1999年

徳永孝一『官の成立・民の変貌』鉦脈社、2003年。

佐々木克『西南戦争における西郷隆盛と士族』『京都大学人文科学』1991年。

永井哲雄「西南の役と日向の動向一西郷軍と宮崎支庁の役割一」宮崎県立図書館編『宮崎県地方史研究紀要』第4号、1977年。

藤井徳行・小原健「薩摩藩出水郷士の研究一西南戦争を中心として一」兵庫教育大学『研究紀要』1993年 など

出席委員会報告

長友久人 委員

◆11/16メイクアップ者名 (敬称略)

甲斐孝則、片木重光、佐藤龍三郎、新地康宏、高橋誠司、秦 喜八郎、藤原昭公、松岡敬三、松田くるみ、湯浅敏幸、渡邊 勝、志戸本和幸

ハッピーボックス (敬称略)

●大坪泰三…11月19日結婚記念日ということで、素敵に盛り花を戴きました。家内がとても喜んでおりました。ありがとうございました。遅くなりましたが、御礼と共にハッピーさせて戴きます。ちなみに、今回の記念日が丁度30年目でした。しかし、家内にはそのことを伝えておりません。大事(おごと)になると大変なので。その日は静かに過ごしました。今後も「寝た子を起こす」ことにならないようにしたいと思っています。

◆ビジター



佐藤慶二 様 (宮崎西RC)

発行/ 宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288

●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)

会長/田中 寿 副会長/山川 力 幹事/生駒俊明